

もりやま総合心療病院

認知症センターだより

令和 7 年 9 月発行 (No.2)

発行／もりやま総合心療病院
認知症疾患医療センター

TEL 052-795-3560



9 月は「認知症月間」です

これまで、毎年 9 月は「世界アルツハイマー月間」として、この日を中心にアルツハイマー病の啓発を行ってきた経緯がありました。日本では、令和 6 年 1 月 1 日に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が施行され、毎年 9 月 21 日が「認知症の日」、9 月が「認知症月間」として制定されました。認知症は誰にとっても身近なテーマです。本人やご家族、地域社会がともに支え合うことが、安心して暮らせる未来につながります。この機会に、認知症について考えたり、情報に触れたりするきっかけにいただければと思います。



研修会を行いました！

6 月 25 日(水)に、ケアマネジャーやいきいき支援センタースタッフを対象に当センター主催の研修会を開催しました。当日は 26 名の方にご参加いただきました。内容は病棟紹介や作業療法を含めた病棟見学、“ゆるっと意見交換会”と称してグループでの座談会も行いました。

病棟紹介・病棟見学では、「病棟の雰囲気はわかってよかった」「家族への案内の際に説明しやすい」「多職種の取り組みがわかった」などの感想を頂きました。座談会では、センター長に直接相談ができる機会でもあり、各グループから様々な質問や意見が出て有意義な時間となりました。中でも「認知症疾患医療センターに相談するのはハードルが高いと思っていた」「センターの利用の仕方がわからない」などのご意見があったのですが、当センターとしてはどんな相談でも受け付けます！タイミングなど考えずまずはお電話いただき、次の流れを一緒に考えていければと思っています。

今後も地域で支援するスタッフの方々に向けてこのような研修会を随時行っていくしますので、機会があれば是非ご参加ください。

また、今年度は 11 月 22 日(土)に地域の方向けの研修会も開催予定です。医師・看護師から認知症についてお話しします。また、コグニサイズ(体と脳の運動)として作業療法士指導の下、実際に身体を動かしていただき、ご自宅でも実践できるような内容が提案できればと思っています。実はこうした地域向けの研修会を行うのは、私たちにとっても初めての試みです。まだ慣れていないことも多く不手際があるかもしれませんが、どうかあたたかく見守っていただければ嬉しいです。詳細が決まり次第、ホームページのお知らせに掲載していきますので、ご確認ください。

認知症治療病棟での作業療法について

6月に行われた研修会での病棟見学の際に、当院の認知症治療病棟で行われている作業療法についても見学をしていただきました。「思ったよりできることが多いとわかった」「参加している方が多くて驚いた」などの感想がありました。

認知症の行動・心理症状（以下、BPSD）への対応方法の第一選択は非薬物療法とされています。非薬物療法とはその名の通り「薬物を用いないアプローチ」のことです。様々な種類がありますが、当院の作業療法では主に以下のことに焦点を当てて行っています。

- 認知機能に焦点を当てたアプローチ
例）リアリティーオリエンテーション：日時や場所をさりげなく伝え、見当識（時間や場所を認識すること）を維持向上させる目的で行います。
- 刺激に焦点を当てたアプローチ
例）レクリエーション：認知症の人の背景を考慮したプログラム内容で行うことで、できることの維持にもつながります。
- 感情面に焦点を当てたアプローチ
例）回想法：昔の話をすることで脳を刺激し、安心感を与えたり、会話を楽しんでもらったりするために行われます。

いくつか写真を掲載しますので、雰囲気伝わればと思います。



みんなでホールに集まって
夏を感じるゲーム
『セミとりゲーム』を
行っているところです。



身体を動かしたり、「嚥下体操（飲み込む力を維持する体操）」をしたりと、食事前の運動も行います。

認知症治療病棟専従 作業療法士より

当院の認知症治療病棟ではリハビリに力を入れています。医師による専門的な薬物療法に加え、病棟での看護ケア、リハビリといった非薬物療法を上手く組み合わせることで認知症による症状（BPSD）の軽減や、患者様の健康的な側面を引き出せるよう努めています。

体操や季節のレクリエーション、音楽鑑賞といった活動をリハビリの一環として行い、患者様と一緒に楽しみながら身体機能や認知機能の活性化を図っています。普段は症状が落ち着かない患者様であっても馴染みのある作業活動を行うことで安心感に繋がり、笑顔で楽しむ姿が見られています。

リハビリを通して自宅退院や施設入所に向けて患者様の機能維持・向上の役割を担っていければと思います。